

現地教育から定着支援まで 外国人材をワンストップで支える

いくら人手が足りないからといって、質が低かったり、自事業所と合わない人材を雇用する事業者はいないだろう。それは外国人材でも同様だ。ONODERA USER RUNは、特定技能外国人材に特化して、質が高く、かつ事業者にもマッチする人材探しをサポートしている。

(取材・文=堀切孝治)



ミャンマーから来日した10名の外国人材。日本での活躍が期待される

すべて自前の教育で
質の高い人材を育成、紹介

2020年12月に、株式会社ONODERA USER RUN(東京都千代田区)がミャンマーで育成した特定技能外国人材(介護分野)10名が日本に入国し、今年1月から現場で勤務を始めている。

同社は給食サービス大手の株式会社LEOCをはじめとしたONODERAグループ傘下として2016年に設立された。ミャンマー、カンボジア、フィリピン、ベトナムでの介護人材の育成、特定技能ビザによる日本国内への人材紹介事業を展開し、日本語・介護教育から就業後の生活支援、介護福祉士資格取得の支援までをワンストップで提供している。先の10名は、その第一陣だ。

同事業の始まりは自社での外国人雇用だった。給食サービスの人手不足を解決するためベトナムに出向いたところ、多くの優秀な人材に出会えたという。「自社の経験を活かし、長く働く意思のある優秀な外国人材を育て、顧客である病院、介護施設の人手不足解消

VOICE



テイさん



ヤミンさん

特定技能外国人材(介護分野)のヤミン・トゥンさんとテイ・テイ・サンさんは、昨年12月にミャンマーから来日し、今年1月からケアサポート寿クラブ(千葉県千葉市)で勤務している。「実際の仕事では思うようにいかないこともありますが、先輩に教えてもらって、少しずつ覚えています」とテイさん。ヤミンさんは、「介護のプロフェッショナルになりたい」と抱負を語る。2人とも、介護福祉士などの資格を取り、できるだけ長く日本で働くことを望んでいる。

「“不穩”というような専門用語も身につけて、優秀です。教えたことは、次の日には修正していて、学ぶ意欲がとても高いです」と同法人の人財育成課・福留孝一さん。1年後には、記録も含め一人前の戦力として活躍することを期待している。



入国前からの徹底したサポートで、介護現場に質の高い外国人材を送り届けます

株式会社 ONODERA USER RUN
営業統括
岩崎庸介さん

【問い合わせ先】

株式会社

ONODERA USER RUN

●東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル16F

TEL 03-5220-8588

URL onodera-user-run.co.jp



(写真上) 学費が無料な分、成績評価はシビア。結果として、まじめで介護に関心の高い人材が育つ

(写真中) 介護の知識は母国語で最初に学び、その後日本語で学ぶカリキュラムを採用しているため、知識の定着度が高いという

(写真下) 来日後もオンラインでの研修を行うなど、継続したサポートを実施。写真はケアサポート寿クラブでの学習の様子

のお手伝いをしたい」と、岩崎庸介営業統括は語る。同社では現地の学生のリクルーから教育、日本での学習支援までを自ら行うビジネスモデルを構

築。授業料や寮費を無償とすることで、若くて優秀な学生を集めることに成功している。合計700時間の教育期間中には成績評価を厳しく行い、就労意欲や学習意欲

の低い学生をふるいにかけている。日本語教育を徹底したうえで介護を学ぶため、理解度・定着力も折り紙付きだ。「モチベーションが高く、謙虚な姿勢の外国人材を紹介してもらった」(ケアサ

ポート株式会社人財育成課・福留孝一さん)と、紹介先からの評価も高い。さらに現地では、日本で介護経験をもつEPA経験者がスタッフとして学生たちを支援しており、来日に伴う不安を軽減。来日後

も、毎週オンラインで日本語と介護の授業を実施するなど、学習進捗を管理しながら介護福祉士資格取得に向けた学習支援も行っている。部屋探しや日常生活での困りごと相談など、生活面でのサポートも提供されており、外国人材にとっても受け入れる介護事業者側にとっても、同社は心強いパートナーとなるだろう。現在、在校生は2200名おり、入国を待つ特定技能評価試験の合格者は1000名を超えている。母数が多い分、自事業所とマッチした人材と出会える可能性もより高まることが期待される。